

## 第14回「福祉・環境のまち部会」 会議録

1 開催日 平成29年7月19日（水）9：30～

2 場所 新見市役所 第4委員会室

3 出席状況 出席8名

部会長	上前 文昭	出席	副部会長	西田 勝江	出席
委員	大月 礼子	出席	委員	早瀬 正弘	出席
委員	宮地 恵子	出席	委員	栗本 真吾	出席
委員	鈴江 恵子	出席	委員	前田 道子	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 1名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

部会長挨拶

3 協議

- 
- ・基本となる研究テーマを決定していきたいと思う。何項目でも良いと思うが、できれば5項目程度に絞っていきたい。  
これまでに協議した内容以外にも、テレビなどで報道されているものを見ることがや先進地に視察に行き、知識を深めるということもできると思う。
  - ・文書による提言だけでなく、図を用いた提案をしなければ分かりにくいと思うので、その準備・作成を早めに進めていかなければと思う。
  - ・まずはメインのテーマを決めて、その上で資料づくりをしなければと考えている。
  - ・災害はたくさん種類があるので、例えば大雨とか震災などに絞っていく方が良いと思う。それと、市の担当から、こういうことはできている、こういうことは問題があるといった説明を受けることができないかと思う。その中で我々が考えられることがあるかどうかを判断できればと思う。

- ・市の担当でも気がつかないといった点を中心に考える必要があるのではと考えている。
- ・例えば、市民の参加率が低いことが問題であるとか、何かヒントがあればと思うのだが。  
そういった観点からも、市の担当から説明を受けることから始めることが必要なのではないだろうか。
- ・市民に徹底するというを中心に、何か良い方法（例えば、図示するとか）でわかりやすいようにする方法がいると思う。
- ・テーマ案にある防災の根本的なことではなく、地域でできる、小部落単位でやるような、皆がわかりやすいものを作るといったことに関して、何か提言できればと思っている。
- ・有事の際には家族間の連絡もままならない状況になるので、そういったことについても対応できるような仕組みについて提言できればと考えている。
- ・自主防災組織などによる公助については動きがあるが、一人暮らしの人などの救助ということも必要で、そのための調査をする（例えば、そういったことを記載したカードを作るとか）といったことも今は必要なかと思う。  
それに定期的な調査（更新のため）も必要。告知放送の緊急通報システムも役に立っているのか、利用されているのかということも知る必要があるかと思う。
- ・独居老人や災害弱者、設備などの課題があると思うので、そういったことの課題解決に向けた提言というのものもあるかと思う。  
それ以外にも、新見は災害が少ないとなると、逆に被災者を受け入れるという体制づくりという観点での提言も大切かと思う。
- ・やはり身近なことに关する提言を行うことが大切ではないかと思う。
- ・小さな地区で細かい内容であるが、誰が誰を助けるといったところまで決めるようなこともしなければならない。
- ・今はゲリラ的な雨がどこに降るといったこともすぐにわかるような時代でもあるし、そういったことも必要だと思う。
- ・やはり“身近なこと”を中心に考えたい。次回の会議に皆さんから2～3点、身近な問題について考えられる事案を提案していただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。テーマについても提案してもらっても良い。